

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会 (平成30年度第2回)議事概要

1. 日 時 平成31年3月12日(火) 13:00~15:00

2. 場 所 九段第3合同庁舎 15階 会議室

3. 出席者

[委員長]

屋井 鉄雄 (東京工業大学副学長)

[委員]

大下 茂 (帝京大学経済学部観光経営学科教授)

佐々木 淳 (東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)

水野 創 (千葉県経済同友会副代表幹事)

[関東地方整備局]

道路部長 山本 悟司

道路企画官 松田 和香

宇都宮国道事務所長 上原 重賢

常陸河川国道事務所長 八尋 裕

道路計画第一課長 松實 崇博

道路計画第二課長 五十嵐 一夫

4. 議 事

(1) 挨拶

・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

平成31年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

・ 新規事業候補箇所の選定の考え方

・ 新規事業候補箇所説明資料

一般国道4号 矢板大田原バイパス

一般国道6号 東海拡幅

(3) 報告事項

<委員からの主な意見等>

■平成31年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

○一般国道4号 矢板大田原バイパス

・ 新規事業化については妥当である。

・ 渋滞対策、安全対策、医療活動に寄与する路線と認識した。

・ 沿線に立地している野崎工業団地への効果は非常に大きいと認識した。

- ・計画段階評価の後に地元での都市計画変更手続きが速やかに完了していることから、円滑な手続きで進捗している事業対象と認識できる。
- ・特に産業面では、道路事業は単独区間だけでなく、全線整備でないと効果が発揮されない面もあるので、早期整備できるようにしてほしい。
- ・自然環境への配慮についてはしっかりお願いしたい。
- ・住宅が連担している区間については事故危険区間が多いため、バイパス区間としている計画は妥当である。

○一般国道6号 東海拡幅

- ・計画段階評価の対応方針(案)及び新規事業化については妥当である。
- ・渋滞対策、安全対策、物流支援に寄与する路線と認識した。
- ・今回、計画段階評価と事業採択時評価を同時に実施するための地元受入環境が整っていることを確認した。
- ・前後区間の4車線化が完了しているなか、当該区間のみ2車線であり、課題が大きく整備を進める必要がある。当該区間も4車線整備しないと効果が得られないため早期整備が必要。

■報告事項

- ・「一般国道15号 品川駅西口基盤整備事業」について、試行的に整備効果を算出した結果を報告し、効果計測手法等について意見をいただいた。

以 上